

生誕130年記念

堂本印象展

2021年2月5日(金)～3月28日(日)

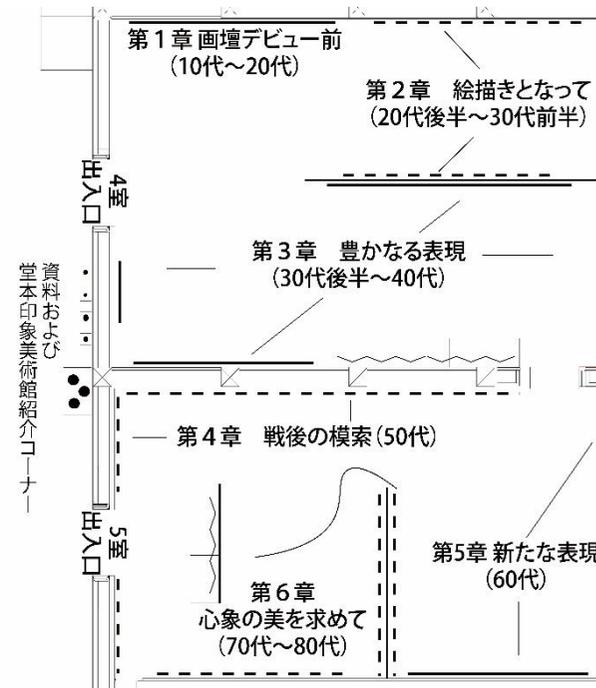


主催：パラミタミュージアム
特別協力：京都府立堂本印象美術館

大正から昭和にかけて京都で活躍した日本画家・堂本印象（どうもといんしょう / 1891～1975）は、1910（明治43）年、京都市立美術工芸学校を卒業後、しばらくは西陣織の図案描きに従事し、1918（大正7）年、日本画家を志して京都市立絵画専門学校に入学しました。翌1919（大正8）年、第1回帝展に初出品した「深草」が入選という華々しい画壇デビューを飾り、その後古典や仏教を主題にした話題作を続々と発表し、1921（大正10）年の第3回帝展にて特選、1925（大正14）年には帝国美術院賞を受賞するなど、一躍画壇の花形となりました。戦後はそれまでの写生を基調とした画風から一転し、独自の社会風俗画を発表し、1955（昭和30）年以降は、日本画における抽象表現の世界に分け入り、その画風の変遷は世間を驚かせました。多くの国際展にも招かれ、1961（昭和36）年には文化勲章を受章し、日本画壇に不動の地位を確立しました。

本展では、京都府立堂本印象美術館の所蔵作品を中心に、伝統に学びながらも常に新たな表現に挑み続けた堂本印象の多彩な画業の全貌を紹介します。

〈堂本印象展会場図〉



※会場の都合により、作品の一部に変更がある場合がございます※

※所蔵先：No. 13・14龍村美術織物／No. 22・65個人 その他はすべて京都府立堂本印象美術館です※

No.	作品名	よみ	制作年	年齢	形状	材質、技法	縦×横 cm	初出展
1 画壇デビュー前（10代～20代）								
1	仁和寺の塔	にんなじのとう	1907	明治40	15	マット装 紙本、水彩	19.0×24.5	-
2	若い労働者	わかいろうどうしゃ	1908	明治41	16	マット装 紙本、水彩	14.0×9.0	-
3	芦屋の土蔵	あしやのどぞう	1911	明治44	19	マット装 紙本、水彩	23.5×15.0	-
4	九軒の女	くけんのおんな	1912	明治45	20	マット装 紙本、ペン・水彩	32.0×24.0	-
5	道頓堀	どうとんぼり	1912	明治45	20	マット装 紙本、水彩	24.5×19.0	-
6	No. 6～12 木彫（ぎおん人形） 木彫 羽衣	もくちょう はごろも	1914	大正3	22	木彫（三軀） 木製、着色	(大)17.0×11.5×7.0 (中)9.5×10.0×6.5 (小)7.0×5.5×5.5	-

7	木彫	お染久松	もくちょう おそめひさま つ	1914	大正3	22	木彫 (二軀)	木製、着色	(大)7.5×17.0×5.5 (小)9.5×15.0×4.5	-
8	木彫	舞扇	もくちょう まいおうぎ	1914	大正3	22	木彫	木製、着色	9.5×5.0×8.5	-
9	木彫	大原女	もくちょう おおはらめ	1914	大正3	22	木彫	木製、着色	11.0×10.5×7.0	-
10	木彫	サロメ	もくちょう さろめ	1915	大正4	23	木彫	木製、着色	10.5×6.5×6.5	-
11	木彫	暫	もくちょう しばらく	1915	大正4	23	木彫	木製、着色	12.0×10.0×6.5	-
12	木彫	勸進帳	もくちょう かんじんち ょう	1915	大正4	23	木彫 (三軀)	木製、着色	(大)18.0×9.0×7.5 (中)17.0×9.5×6.5 (小)12.0×7.0×5.0	-
13	彦根屏風図案	ひこねびょうぶずあん		1918	大正7	26	額装	絹本、着色	47.0×40.0	-
14	彦根屏風文錦裂	ひこねびょうぶもんにしき ぎれ		2017	平成29		額装	絹、錦	138.0×68.0	-
2 絵描きとなって (20代後半～30代前半)										
15	深草	ふかくさ		1919	大正8	27	額装 (二曲一隻)	絹本、着色	166.0×184.0	第1回帝展
16	爽山映雪	そうざんえいせつ		1921	大正10	29	額装 (二曲一隻)	絹本、着色	164.5×186.0	第3回帝展
17	猫	ねこ		1922	大正11	30	額装	絹本、彩色	120.0×91.0	東京府平和記念博覧会
18	伊曾保数語	いそほすがたり		1922	大正11	30	卷子	絹本、着色	47.0×490.0	-
19	維摩	ゆいま		1923	大正12	31	額装 (3面)	絹本、着色	(中)225.0×166.0 (左右)各225.0×61.0	大毎日本美術展
20	乳の願い	ちちのねがい		1924	大正13	32	額装 (四曲一隻)	絹本、彩色	187.5×338.5	第5回帝展
21	坂	さか		1924	大正13	32	額装	絹本、着色	120.0×72.0	第1回青甲社展
22	皿 圓境一楽	さら えんきょういちらく		1925	大正14	33	漆絵 (20枚)	木製、漆塗	各径15.0	-
3 豊かなる表現 (30代後半～40代)										
23	春	はる		1927	昭和2	35	額装 (二曲一隻)	絹本、着色	167.0×184.0	第8回帝展
24	菟狝	しゅうりょう		1928	昭和3	36	額装 (二曲一隻)	絹本、着色	204.0×225.0	第9回帝展
25	木華開耶媛	このはなさくやひめ		1929	昭和4	37	額装 (二曲一隻)	絹本、着色	170.0×238.0	第10回帝展
26	雪	ゆき		1930	昭和5	38	額装 (二曲一隻)	絹本、着色	171.5×172.5	第7回青甲社展
27	菩薩 (富貴寺大堂壁画模写)	ぼさつ (ふきじおおどうは しらえへきがもしゃ)		1930	昭和5	38	額装	紙本、墨・着色	47.0×30.0	-

28	伽陵頻迦（富貴寺大堂壁画模写）	かりょうびんが（ふきじお おどうへきがもしゃ）	1930	昭和5	38	額装	紙本、墨・着色	18.0×30.0	-
29	釈迦浄土（富貴寺大堂壁画模写）	しゃかじょうど（ふきじお おどうへきがもしゃ）	1930	昭和5	38	額装	紙本、墨・着色	28.0×122.0	-
30	山越阿弥陀	やまごえあみだ	1930	昭和5	38	額装	絹本、着色	72.0×86.0	-
31	夕顔図	ゆうがおず	1935	昭和10	43	額装	絹本、彩色	128.0×42.0	-
32	観世音	かんぜおん	1937	昭和12	45	額装	絹本、着色	185.0×140.0	第1回新文展
33	兎春野に遊ぶ	うさぎはるのにあそぶ	1938	昭和13	46	額装	絹本、着色	132.0×200.0	-
34	爽籟高清图	そうらいこうせい	1940	昭和15	48	六曲一双	絹本、彩色	各167.0×372.0	第3回東丘社展
4 戦後の模索（50代）									
35	太子降誕	たいしこうたん	1947	昭和22	55	額装（二曲一隻）	絹本、着色	173.0×192.0	第3回日展
36	少女（桃子の像）	しょうじょ（ももこのぞう）	1948	昭和23	56	額装	絹本、着色	98.0×96.0	第13回青甲社展
37	或る家族	あるかぞく	1949	昭和24	57	額装	紙本、着色	120.0×164.0	第5回日展
38	椅子による二人	いすによるふたり	1949	昭和24	57	額装	紙本、着色	130.0×160.0	第7回東丘社展
39	耀けるもの	かがやけるもの	1950	昭和25	58	額装	紙本、着色	121.0×166.0	第8回東丘社展
40	八時間	はちじかん	1951	昭和26	59	額装	紙本、着色	130.0×160.0	第9回東丘社展
41	春日大社（鉄道省国際観光局ポスター）	かすがたいしゃ（てつどうしょうこくさいかんこうきょくぼすたー）	1937	昭和12	45	額装	印刷	97.5×62.0	-
42	平安神宮（日本交通公社ポスター）	へいあんじんぐう（にほんこうつうこうしゃぼすたー）	1945-1954	昭和20年代	53-62	額装	印刷	105.5×69.0	-
5 新たな表現（60代）									
43	モンマルトルをそれて	もんまるとるをそれて	1952	昭和27	60	額装	キャンバス、油彩	46.0×55.0	-
44	モンマルトルのバー	もんまるとるのばー	1952	昭和27	60	額装	キャンバス、油彩	33.0×46.0	-
45	十字架	じゅうじか	1954	昭和29	62	額装	紙本、着色	129.5×97.0	第11回東丘社展
46	欲望	よくぼう	1955	昭和30	63	額装	紙本、着色	96.0×129.0	第12回東丘社展
47	意識	いしき	1956	昭和31	64	額装	紙本、着色	120.0×165.0	第12回日展
48	中ノ島展望	なかのしまてんぼう	1960	昭和35	68	額装	紙本、鉛筆・着色	32.0×96.0	-
49	厨房	ちゅうぼう	1960	昭和35	68	額装	絹本、着色	56.0×42.0	-

50	聖母マリア（下絵）大阪玉造教会壁画	せいぼまりあ（したえ）お おさかたまつくりきょうか いへきが	1962	昭和37	70	額装	絹本、着色	65.0×53.0	-
51	高山右近（下絵）大阪玉造教会壁画	たかやまうこん（したえ） おおさかたまつくりきょう かいへきが	1962	昭和37	70	額装	絹本、着色	52.0×42.0	-
52	細川ガラシャ夫人（下絵）大阪玉造教会壁画	ほそかわがらしゃ（したえ） おおさかたまつくり きょうかいへきが	1962	昭和37	70	額装	絹本、着色	52.0×42.0	-
6 心象の美を求めて（70代～80代）									
53	交響	こうきょう	1961	昭和36	69	額装	紙本、着色	160.5×129.0	第4回新日展
54	結集	けつじゅう	1962	昭和37	70	額装	紙本、着色	160.0×130.0	第5回新日展
55	喪失と体得	そうしつとたいとく	1963	昭和38	71	額装	紙本、墨・着色	110.0×140.0	堂本印象新造形作品展
56	はるかなる海	はるかなるうみ	1967	昭和42	75	屏風（六曲一隻）	紙本墨画金彩・銀彩	168.5×372.0	-
57	執着の離脱	しゅうじゃくのりだつ	1967	昭和42	75	額装	紙本、着色	160.0×130.0	第10回新日展
58	ロゴスの不滅	ろごすのふめつ	1968	昭和43	76	額装	紙本、着色	160.0×130.0	第11回新日展
59	聖家族	せいかぞく	1968	昭和43	76	額装	紙本、着色	194.0×129.5	第25回東丘社展
60	聖歌	せいか	1969	昭和44	77	額装	紙本、着色	161.0×111.0	第26回東丘社展
61	慈	じ	1971	昭和46	79	額装	紙本、着色	161.0×129.0	第28回東丘社展
62	桜杉木立屏風	さくらすぎこだちびょうぶ	1972	昭和47	80	額装（二曲一隻）	紙本、着色	168.0×187.0	-
63	入我我入	にゆうががにゆう	1973	昭和48	81	額装	紙本、着色	162.5×130.5	第30回東丘社展
64	水指 すみの江の松	みずさし すみのえのまつ	1962	昭和37	70	水指	陶器	16.5×18.0	-
65	茶碗 花の色	ちやわん はなのいろ	1970頃	昭和45頃	78頃	茶碗	陶器	8.5×13.5	-
66	銀のかま 地中海	ぎんのかま ちちゅうかい	1963	昭和38	71	茶釜	鍍金、銀	26.2×21.0	-
67	丸釜 寿松絵	まるがま じゅしょうえ	1937	昭和12	45	茶釜	鍍金、鉄	19.0×22.0	-
68	堂本印象美術館ポスター（昭和41年10月22日-12月15日）	どうもといんしょうびじゅ つかんぼすたー	1966	昭和41	74	マット装	紙本、水彩	52.5×38.0	-
69	堂本印象美術館ポスター（昭和42年9月15日-12月17日）	どうもといんしょうびじゅ つかんぼすたー	1967	昭和42	75	マット装	紙本、水彩	55.0×41.0	-
70	木彫椅子（3脚）	もくちょういす	1966	昭和41	74	椅子（三脚）	木製	各93.5×43.5×40.5	-